

2. 事業評価個表

番 号	交付金事業の名称		
1	消防団本部車整備事業		
交付対象都道府県又は市町村その他の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市本部 いちき串木野市昭和通 133 番地 1		
交付金事業の概要	消防団本部車 1 台		
総事業費 (千円)	4,698	交付金充当額 (千円)	4,698
交付金事業の成果及び評価	<p>国家石油備蓄基地が立地されている本市は、消防本部を核に 1 消防署、1 分遣所、消防団本部、12 分団の消防防災体制を整えており、消防施設等の整備については、消防施設整備事業に基づき実施し、住民の災害等に対する不安を払拭して安心安全なまちづくりを目指している。</p> <p>従来の消防団本部車は、平成 7 年度に購入されたもので、既に 22 年が経過しており、経年劣化による老朽化が著しく故障による部品交換及び修理の頻度が多く、災害出動等に支障を来す状況であった。</p> <p>今回、更新された消防団本部車 1 台は、消防団本部による災害時の指揮活動はもとより、人員・資機材等の搬送、運搬や予防広報活動等、幅広い分野で活躍が期待される最新型の車両である。</p> <p>更新後、当該車両が出動対象となる災害等の出動はなく、現在のところ通常業務の運行のみである。</p> <p>消防団本部車を更新したことにより、経年劣化による懸案事項が解消され、消防団活動が、安全、確実かつ迅速に行なえるとともに、本市の消防における防災体制が、より強固なものになり、安心安全の確保に資するものと評価する。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	消防団本部車更新	指名競争入札	鹿兒島日産自動車株式会社
			契約金額 (千円)
			4,698
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
特に予定なし			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			
特に予定なし			

2. 事業評価個表

番 号	交付金事業の名称		
2	防火衣整備事業		
交付対象都道府県又は市町村その他の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市本部 いちき串木野市昭和通 133 番地 1		
交付金事業の概要	防火衣一式 8着		
総事業費 (千円)	1,944	交付金充当額 (千円)	1,750
交付金事業の成果及び評価	<p>国家石油備蓄基地が立地されている本市は、消防本部を核に 1 消防署、1 分遣所、消防団本部、12 分団による消防防災体制で災害対応しており、消防施設等の整備については、消防施設整備事業に基づき実施し、住民の災害等に対するニーズに応えられるよう安全安心なまちづくりを目指している。</p> <p>更新前の防火衣は、平成 19 年度から 21 年度にかけて年次的に整備されたものであり、長いもので既に 10 年が経過し、概ねの耐用年数である 8 年を経過しており、また日常訓練などにより損傷、劣化が著しく、耐熱性及び強度等に対する不安が大きく、現場活動及び安全管理上支障を来している状況であった。</p> <p>今年年次的な整備として、前年度 40 着、今年度残りの 8 着を整備したところであり、更新された防火衣は、消防隊員用個人防火装備に係るガイドラインの規格に適合した仕様であり、従来のものに比べ、耐熱性、防護性、防水性、通気性、軽量化など隊員の安全性を考慮した最新の防火衣である。</p> <p>更新後、火災出動に 1 回、救急救助支援に 18 回、火災防ぎょ訓練等に 54 回使用している。</p> <p>最新の防火服に更新したことにより、災害現場においての安全性が確保され、更には消防隊員の士気向上に資するものと評価する。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	防火衣更新	指名競争入札	有限会社 武田ファイテック
			契約金額 (千円) 1,944
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
特に予定なし			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			
特に予定なし			

2. 事業評価個表

番 号	交付金事業の名称		
3	はしご自動車購入基金造成事業		
交付対象都道府県又は市町村その他の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市本部 いちき串木野市昭和通 133 番地 1		
交付金事業の概要	令和 3 年度に購入するはしご自動車のための基金造成		
総事業費 (千円)	56,702	交付金充当額 (千円)	56,702
交付金事業の成果及び評価	<p>国家石油備蓄基地が立地されている本市は、消防本部を核に 1 消防署、1 分遣所、消防団本部、12 分団の消防防災体制を整えており、消防施設等の整備については、消防施設整備事業に基づき実施し、住民の災害等に対する不安を払拭して安心安全なまちづくりを目指している。</p> <p>本市現有のはしご自動車は、導入後、既に 28 年が経過しており、これまでに 2 回のオーバーホールを実施し、さらに年次保守点検整備を行うなど安全性に十分留意し運用しているものの、経年的な劣化は否めず、今後のオーバーホールについても、交換部品の供給対応年数等の懸案事項から実施ができなくなり、ますます安全管理上支障を来す状況となる。</p> <p>今回更新しようとするはしご自動車は、ローキャブダブルキャブ型低床 10 トン級後輪 2 軸消防車専用シャシの 30m 級先端屈折式で、放水銃付のバスケット装置をはしご先端に固定装備し、車両走行時は、バスケットをはしご先端部に収納できる構造の他、垂直・水平制御機能等の操作機能や、車両の全周囲を確認できる全方位モニタ等を装備するなど、安全管理にも十分配慮した最新型の車両である。これらにより、中高層建物などの火災や救助の高所災害事案での対応力の向上や、危険物施設のタンク火災等にも有効な消火手段として効果が望まれる。また、本市は、国家石油備蓄基地との有機的な災害対応を確立しており、必要不可欠な消防車両である。このことから、更新後は現場活動が効率的となり、また運用時の安全性が確実なものとなって、本市における防災体制がより確立され、住民の安心安全に資するものと思われる。</p> <p>以上のような目的ではしご自動車の購入申請を行いたいが、多額の経費が掛かるため、今年度から引き続き基金を積んだものである。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	はしご自動車購入基金造成事業	大口定期預金	さつま日置農業協同組合
			契約金額 (千円) 56,702
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
はしご自動車購入には多額の費用がかかることから、基金として積み立てることは今後も必要と考える			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			
令和 3 年度			